

窪田委員（自民議連）

令和7年3月13日
教育長職務代理者答弁実録
(教育委員会)

(問) AIの功罪について

「高等学校デジタル人材育成強化事業」及び「AIの活用による英語教育強化事業」を進めるに当たり、全国に先駆けて「学びの変革」を推進してきた本県として、AI時代における目指すべき人材像をどのように考えているのか、教育長の所見を伺う。

また、生徒の主体的に思考する力や創造力をどのように育成しようと考えているのか、併せて教育長の所見を伺う。

(答)

AIなどデジタル技術が飛躍的に発展する時代におきましては、AIの有用性とリスクを理解した上で、AIなどデジタル技術をツールとして適切に活用し、異なる価値観を持つ多様な他者と当事者意識を持って対話しながら、主体的に学び、問題を発見・解決することのできる「持続可能な社会の創り手」となり得るような人材が求められているものと考えております。

こうした人材に必要な論理的思考力や創造力等の資質・能力を育成するため、課題発見・解決学習を取り入れたカリキュラムを開発し、各教科等におきまして、主体的・対話的で深い学びを促す取組を進めているところであり、例えば、複数の生徒が書いた作文を生成AIに分類させて論点を提示させることにより、生徒が議論を深めることができるような学習活動の工夫を行っております。

教育委員会といたしましては、こうした各学校における活動実践や生成AI等の活用事例を共有するなど、引き続き、各学校の取組を支援してまいります。